

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

令和 7 年

企画総務委員会会議録

令和 7 年 7 月 2 5 日

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

企 画 総 務 委 員 会 会 議 録

- 1 開会年月日 令和7年7月25日(金)
- 2 開会場所 議会第1会議室
- 3 出席者 (8人)
- | | |
|-----------|-------------|
| 委員長 太田 雅久 | 副委員長 大貫 はなこ |
| 委員 拝野 健 | 委員 田中 宏篤 |
| 委員 富永 龍司 | 委員 寺田 晃 |
| 委員 早川 太郎 | 委員 秋間 洋 |
- 4 欠席者 (0人)
- 5 委員外議員 (0人)
- 6 出席理事者
- | | |
|-----------------|---------|
| 副 区 長 | 野 村 武 治 |
| 副 区 長 | 梶 靖 彦 |
| 用地・施設活用担当部長 | 越 智 浩 史 |
| 用地・施設活用課長 | 坂 本 一 成 |
| 清川二丁目プロジェクト推進課長 | 伊 藤 慶 |
| 総務部長 | 小 川 信 彦 |
| 総務課長 | 福 田 健 一 |
- 7 議会事務局
- | | |
|--------|---------|
| 事務局長 | 鈴 木 慎 也 |
| 議事調査係長 | 吉 田 裕 麻 |
| 書 記 | 塚 本 隆 二 |
| 書 記 | 岡 崎 一 生 |

8 案件 特定事件について

◎理事者報告事項

【用地・施設活用担当】

1. さかもと朝顔広場における取組について

……………資料1 用地・施設活用課長

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

午後 1時59分開会

○委員長（太田雅久） ただいまから、企画総務委員会を開会いたします。

○委員長 本日は、卓上マイクのスイッチを必ず押してから、ご発言願います。

また、理事者発言席を設けましたので、よろしく願います。

○委員長 次に、傍聴についておはかりいたします。

本日提出される傍聴願については、許可いたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長 ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

それでは、審議に入らせていただきます。

○委員長 案件、特定事件についてを議題といたします。

本件については、理事者から報告がありますので、ご聴取願います。

さかもと朝顔広場における取組について、用地・施設活用課長、報告願います。

用地・施設活用課長。

◎坂本一成 用地・施設活用課長 それでは、さかもと朝顔広場における取組についてご説明いたします。

資料1をお開きください。項番1、概要です。令和5年度より暫定活用を開始したさかもと朝顔広場は、現在、広場の認知度を高め、利用を促進する公民連携による社会実験を継続的に実施しています。

項番2、社会実験の実施概要及び結果です。（1）イベント名はコミュニティイベント てんです。実施概要は、開催日時、令和7年3月1日土曜日10時から15時で、天候、晴れでした。内容は、ワークショップやスポーツ体験、物販、紙飛行機飛ばし大会などを行いました。主催はてん実行委員会でございます。

②実施結果は、時間帯別の滞在者、延べ人数での表のとおり、累計で約649人来場していただきました。

アンケートの主な結果ですが、左側の今後どのようなイベントや企画があれば参加したいかの設問では、子供向けイベントやその他のイベント、食べ物、ワークショップの回答が多くございました。また、右側のこれからこの場所でどのようなことをしたいかの設問では、スポーツ・運動や文化活動、地域活動の回答が多くございました。

恐れ入ります、次ページをご覧ください。来場者の主な意見としましては、この広場でイベントを定期的に開催してほしいや、暑い季節に向けて日差しを遮る場所や休憩スペース、芝生化、ボール遊びエリアの拡充などのご意見をいただきました。

次に、主催者からは、立地がよいので様々な催しの際、集客につなげやすいといった意見が

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

ございました。

次に、社会実験の効果としまして、立地やアクセスのよさから、近隣のほか、区外からも一定数の来場者があり、広場の認知度向上につながっています。

当日の写真としましては、ワークショップのほか、マイナースポーツの体験として、スポンジボールを手にはめて打つテニピンを実施しましたので、掲載しています。次ページにはブックリサイクルや紙飛行機飛ばし大会の写真を添付しています。

続きまして、イベント名、nikoフェスinさかもと朝顔広場でございます。実施概要は、開催日時、令和7年3月15日土曜日10時から15時までで、天候は曇りでした。内容は、ワークショップやキッチンカー、物販を行いました。主催は一般社団法人SEMです。

実施結果としまして、時間帯別の滞在者延べ人数ですが、前回10月に同イベント事業者が実施したときには、天候が雨の中、約1,000人が集まりましたが、今回は表のとおり、累計で約2,736人来場していただきました。

アンケートの主な結果ですが、左側の今後どのようなイベントや企画があれば参加したいかの設問では、先ほどと同様、子供向けイベントが一番多く、また、右側のこれからのこの場所でどのようなことをしたいかの設問では、スポーツ・運動や地域活動の回答が多くございました。

来場者の主な意見としましては、定期的なイベントを開催、日よけスペース、ベンチ、ボールが使える広場などのご意見をいただきました。

次ページをご覧ください。主催者からは、面としての使いやすさ、他地域と比較してワークショップが人気、近隣へのチラシの配布の効果があったといった意見がございました。

次に、社会実験の効果としまして、約3,000人の来場者があり、一層の認知度向上が図れたことや、ワークショップなど優良なコンテンツがあると、近隣の子育て世帯の来訪につながる場合がございます。

当日の写真としましては、ワークショップやキッチンカーの様子を掲載しています。

続きまして、5ページをご覧ください。項番3、広場の整備拡充についてです。本年6月に日陰や憩いの場の増設を図り、もともと南側に1基あったミストパーゴラを2基増設いたしました。

項番4、地域との意見交換での主な意見です。本年3月19日に坂本町会、坂本二丁目町会、下谷一丁目町会の方々と意見交換を行いました。内容としましては、今後のイベントにおける地域との連携についてでございます。主な意見としましては、フリーマーケットなど、町会も絡んだイベントがあるとよい、イベント時に座れる場所がもっとあるとよい、年数を重ねるごとに広場の知名度が上がり、集客も増えていくといったご意見を頂戴いたしました。今後もこうしたご意見を参考にしながら、イベントのテーマなども意識しながら、社会実験の継続による広場の認知度向上や地域の活性化に資する取組を実行していきたいと考えています。

最後に、項番5、今後の予定です。明日、7月26日に今年度1回目のイベントとして、n i

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

k oフェス i n さかもと朝顔広場を開催します。今回、初めて夏に開催するため、水遊びエリアを設置して、水鉄砲を使用したイベントを実施します。また、今年度中に複数回のイベントを開催し、年度末に地域との意見交換会を開催してまいります。

説明は以上でございます。

○委員長 ただいまの報告について、ご質問ありましたら、どうぞ。

早川委員。

◆早川太郎 委員 公民連携の取組で、公民連携については、私、進めてほしいなと思っておりますが、その部分に関しては、たしか産建のほうでやっていると思うので、今回、さかもと朝顔広場のことで伺わせていただきますが、今回でたしか3回目の報告になるんですかね。今、お話ありましたけれど、今年の3月に2回やってみたら、来場者もすごく増えて好評だったという報告もありましたし、あと、地域との意見交換でも、今後に向けての前向きな意見もあつたって、今、お話ありましたけれども、今回の報告にあつたような、区が仕掛けたものではなくて、例えば地域の団体などが自主的に実施しているイベントも増えてきているのではないかなと思っているんですけれど、その辺ってどうなるのか、ちょっと教えてください。

○委員長 用地・施設活用課長。

◎坂本一成 用地・施設活用課長 お答えいたします。

昨年度は地域の盆踊り、夏祭りや地域主催の防災訓練が行われ、8月には環境課が所管で、地域と共に打ち水やあさがお展示会が実施されております。先日の入谷朝顔まつりでは下谷観光連盟主催のふるさと交流物産展で広場が使用されております。

○委員長 早川委員。

◆早川太郎 委員 大分増えてきているし、多分今後も増えていくんだろうなと、この間の朝顔市のときも、私、広場に行かせていただきましたけれど、結構人も来ていたし、今後どんどんそういう形で増えていけばいいなと思うんですけれど、やはり台東区って、そもそもの面積も狭いし、イベントができるような広場ってそんなにないですよ。地域住民、特に子育て世帯が楽しめるイベントがこういうところで増えてくるというの、私、すごくいいことだなと思っていて、今回の報告にあつた区が仕掛けたイベントなどは、本当に区民サービスの向上につながっているのかなと思っているんですけれど、この今の報告書の例えば2ページ目のところの主催者の意見のところとかでも、立地がいいので集客につなげやすいとか、あと、その下の効果のところでも、区外からも一定数来場するなどの記載があつて、認知度が向上していけば、ここを活用したいと思う団体とかも増えてくるんじゃないかなと思っていて、その中には、地域住民を意識したイベントではなくて、区外から集客を目指すようなイベントを実施したいというような利用希望も来るのかもしれないなと思っているんですけれど、その場合というのは活用できたりするんですか。

○委員長 用地・施設活用課長。

◎坂本一成 用地・施設活用課長 お答えいたします。

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

これまでの社会実験イベントで区外から一定数の集客もございましたが、区外からの集客を目指すようなイベントの使用は、要件を満たせば可能でございます。社会実験の実施要領では、単なる営利を目的とした物販販売、その他これに類する行為でないことを使用条件としております。今後の社会実験でのアンケートや地域との意見交換の中で、こうした様々な形態についても広場の可能性の把握や地域の活性化に資する取組として、活用の検討を行っていきたいと考えております。

○委員長 早川委員。

◆早川太郎 委員 北部の小包跡地でも使われる言葉なんですけれど、地域活性化に資する取組って、本当にいろいろな要素があるんだろうなと思っています。だから、例えば先ほど言ったみたいに、区民サービスの向上につながるものだったりとか、例えば区外からの人を呼び込むものだって、地域の活性化に資する、そういうこと、いろいろなところがあるんだと思っているんですけど、今、せっかく社会実験を始めているんなら、本格活用に向けて、区や地域にとってこの土地がどういったことに向いていて、どういったことに活用することで満足度が上がっていくのか、本当に実証実験を通じてしっかりと把握に努めてほしいと思っています。せっかく広場も整備して、実験も始めているので、少し時間をかけてでも、この社会実験を意味のあるようにしっかりやっていただきたいと思っていますんで、頑張ってくださいと要望して、終わります。以上です。

○委員長 寺田委員。

◆寺田晃 委員 今回、2回のイベントの報告をいただいているんですけども、アンケートも見させていただいて、ちなみにそのアンケートの集約というか、整理する中で、年代別とか、また区内とか区外とか、その辺は把握されているのでしょうか。

○委員長 用地・施設活用課長。

◎坂本一成 用地・施設活用課長 お答えいたします。

イベント、社会実験のイベントの際は、職員のほうでアンケート用紙に記入していただいて、L o G o フォームでの回答もらったり、アンケートの収集しております。そこに年齢層のところですとか、あとは男女の比率なども把握しながらやっているところでございます。

○委員長 寺田委員。

◆寺田晃 委員 今後、実験を続けていく中で、やはりできることなら全年代の人に活用していただきながら、利用していただきたいなということもありますし、果たして、それが区内の方の意見なのか、区外の方の意見なのか、その辺も含めて、しっかり把握していただきたいなということを要望させていただきます。

あわせて、地域の意見交換会の中では、フリーマーケットなど町会も絡んだイベントがということで、町会も絡めながら、新しい交流というんですかね、新しいにぎわいをつくっていただきたいなって、今、台東区の町会の課題としては役員不足ということも大きな、皆さん認識されていると思うんですけども、今回、このようなイベントを重ねることによって、町会

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

と携わりながら地域のこともやってみたいという方が増えるように進めていただきたいなとは思いますが、ちなみに今後、フリーマーケット以外にも町会を絡んだイベントについては、何パターンかというか、幾つか想定はしていらっしゃるのでしょうか。

○委員長 用地・施設活用課長。

◎坂本一成 用地・施設活用課長 お答えいたします。

地域と、町会の方々と意見交換を重ねる中で、今回、フリーマーケットというワードが出ましたけれども、地域との連携をする中で、イベント主催者の、そのイベントの打つ方法とマッチングする必要があるので、その都度、イベント事業者には地域とどういったことが絡めるか、連携が取れるかというところを模索しながら、今回、その都度、イベントの主催を認めているところがございます。あした、イベントがございます、こちらはちょっと急に決まったイベントでございますので、なかなか調整ができなかったんですけども、秋以降のイベントにはそういったところをイベント事業者としっかりと調整してまいりたいと考えております。

○委員長 寺田委員。

◆寺田晃 委員 分かりました。日にちがたつのはどんどん、あつという間にどんどん日にちたってしまうですし、できることなら、こういう形のイベントだったらこういう形でというような、所管の中で町会さんが絡めるようなスタイルというんですかね、体制というの、幾つか想定しておいていただければ、急なイベントの開催においても、こういう形だったら町会さん入っていただけますかとかいう打診もできると思いますし、そういったことを想定しながら今後進めていただいて、この広場の活用を充実していただきたいなって要望させていただきます。

あわせて、地域の方の意見よく聞くんですけども、たしかこの朝顔広場については、今後、どのようなスケジュール感で形にしていくのかというのが、たしかまだ決まっていないというか、決められないという実情もあるとは思いますが、これは要望なんですけども、やはりあらかじめの大まかなスケジュール感をできれば打ち出していただきながら、目標みたいなものをつくっていただきながら、それに合わせてイベント、社会実験ですね、目標があるからこそ、一つ、やることの充実感、充実さ、充実感を進めていけると思いますので、できれば要望としては、あらかじめスケジュール感というんですかね、あったほうがいいんじゃないかなというふうには強く感じております。地域の方につきましては、防災の拠点にもなる場所だと思いますので、やはりスケジュール感も、もし可能であればつくっていただきながら、周りの環境、実情もあるとは思いますが、それを踏まえながら進めていただきたいと思いますので、こちらは要望でお願いいたします。以上です。

○委員長 田中委員。

◆田中宏篤 委員 今のちょっとスケジュール感のところ若干関連してくるんですけども、午前中の産業建設委員会の鶯谷駅の北口のところでも議論として出ていたんですけども、やはりこういった大規模用地というのはまちづくり、どういうふうに鶯谷の周辺のまちをしてい

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

くかということで、どういう活用があるかというまちづくりの視点から、また、数年後には華学園のところの返還もあるわけで、そこで大規模用地が2か所できるという中で、ここをどう活用していくかというのは、やはりまちづくりの観点からどういうまちに目指していくかという方面から検討する必要があると非常に重要だなというふうに思っていて、なので、スケジュール感ってなると、じゃあ、例えば華学園のところの返却とか、重要なポイントポイントって出てくると思うんですね、凌雲橋がどれぐらいかかってくるかと、そういう形で、まちづくり全体での流れというか、スケジュール感というのはやはり出していく必要があるのかなというふうに思います。具体的にもう個別、1個1個、このタイミングでこうしていく、このタイミングでこうしていくというよりは、これからのまちの流れの中でいろいろ発生するものを整理して、そこで、それまでにこういうビジョンを描いていかなければいけないよねというような大まかなスケジュール感というのは必要だと思いますので、それはちょっと意見として申し述べておきます。以上です。

○委員長 拝野委員。

◆拝野健 委員 イベントはすごくうまくいっていて、満足度も高いんだろうなと思っております。愛称がついたことで、避難場所としてはいつか、いつかだと思うんですけれど、旧坂本小という名前になったままになっていて、愛称の定着率によると思うんですけれども、どっかのタイミングで一致させておかないと、新しい人たちは、あそこは坂本小学校だったことは知らないでしょうから、その辺、併記するのか、どっかのタイミングでやはり判断しなければいけないんだろうなというのは思っていますので、今すぐやってくれとは思わないんですけれども、検討事項に入れていただきたいというのは1点です。

あと、鶯谷周辺ってもう、産建でもちょっと話出たと思うんですが、いろいろなことが並走して、並列して走っていて、結構なかなか難しいところがあると思いますが、まず、一番大事なことは住んでいる方々がどういうまちにしていきたいのかという、意識の醸成今やっていますので、それにも一枚かんでいただきたいというのが要望としてありますと。

最後に、先ほど町会の人たち、かみたい、一緒にやりたいって話だった場合に、一つ考え方としてあるのは、社会実験で募集のときに町会と何かやってくださいというのを横に加えるだとか、何か1回ぐらいはやってみてというふうにはやらないと、せっかく意見もらったのにそごになってしまうというのが懸念されるので、全て役所が主催でってわけにいかないと思いますから、やはり募集の要項の部分でいじっていけばいいのかなと思うんですが、その辺、どうでしょう。

○委員長 用地・施設活用課長。

◎坂本一成 用地・施設活用課長 お答えいたします。

今後、社会実験イベント等、費用の可能性把握ですとか努めてまいりますけれども、委員のご指摘のところも踏まえまして、しっかりと調整してまいりますと考えております。

○委員長 拝野委員。

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

◆拝野健 委員 ありがとうございます。以上です。

○委員長 ほかによろしいですか。

(発言する者なし)

○委員長 あそこの場所ってやはり地域とするとね、根岸の防災広場あるじゃないですか、みんな羨ましがっていたんだよね、あれをね。こちらができたというのは本当に喜んでいると思う。やはり、でも、場所、土地とか建物というのは、台東区のものって、もちろん第一義的には地域だけれど、台東区の資産であるわけだから、広く構えていろいろな形でトライするのがいいと思いますね。まちづくりも出てきたけれど、これすごく大事なところだと思うので、都市づくり部ともいろいろ連携しながら、まちづくりも想定に置きながらいろいろイベントしていくというのはすごく大事だと思いますね。我々も、それじゃあ、どうしたら、先ほどの話だけれど、どういったらいいのというの、いろいろな自分でヒントがあったらどんどん出してもらって、任すだけじゃなくて、これからもそういうことやっていきましょう。委員会からどんどん提案していくように、そういうことでよろしく願います。

ただいまの報告については、ご了承願います。

理事者からの報告は、以上であります。

○委員長 以上で、本日予定されたものは、全て終了いたしました。

その他、ご発言がありましたら、どうぞ。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長 これをもちまして案件、特定事件についての審議を終了し、企画総務委員会を閉会いたします。

午後 2時19分閉会